

令和3年  
12月号



# セーフティ ドライバーズ インフォメーション Safety Drivers 情報 plus + (プラス)

令和3年 11月 25日(木)  
富山県警察本部交通企画課  
(076)441-2211(代)

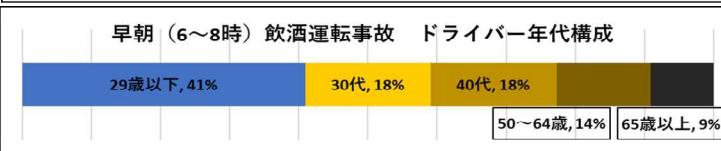
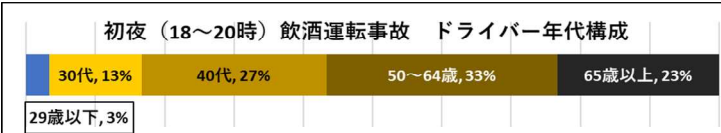
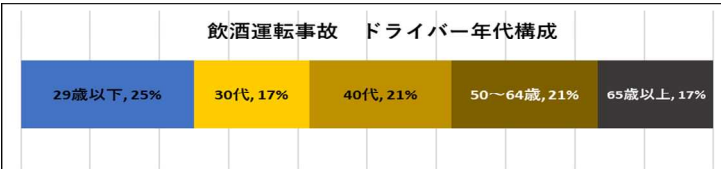
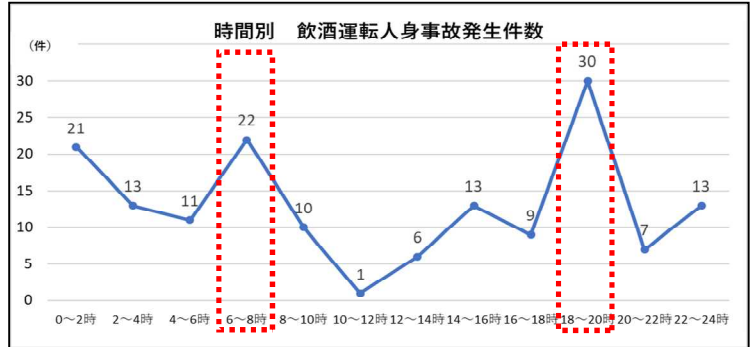
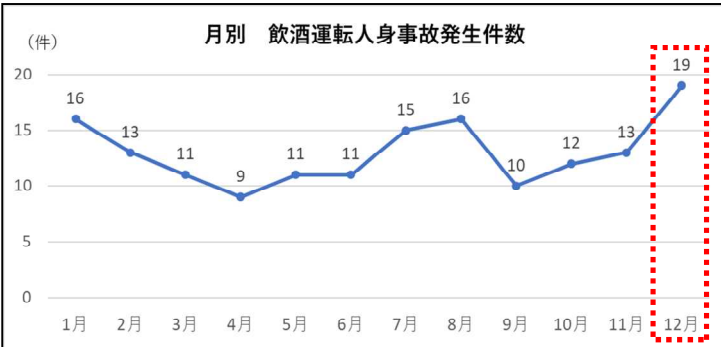
## 12月は飲酒運転による事故が多発!!

【月別・時間別・年代別の飲酒運転事故】

注)表は、過去5年の月別・時間別の累計件数

### 発生傾向

- 1 飲酒運転による事故件数は12月がピーク
- 2 初夜(18~20時)が最も多いが、次いで早朝(6~8時)が多い



### 分析結果

- ・年末の忘年会、帰省中の友人との会食等飲酒の機会が増加
- ・初夜は50代以上のシニア世代の飲酒事故が過半を占める
- ・早朝は29歳以下の若者の飲酒事故が4割を占める

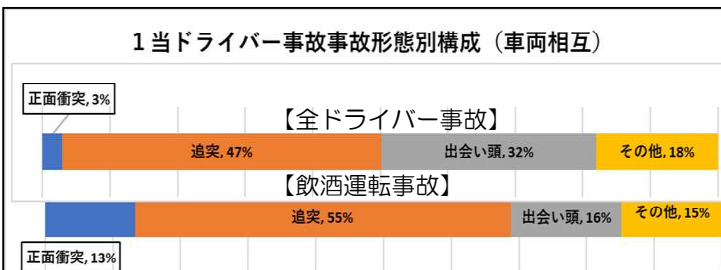
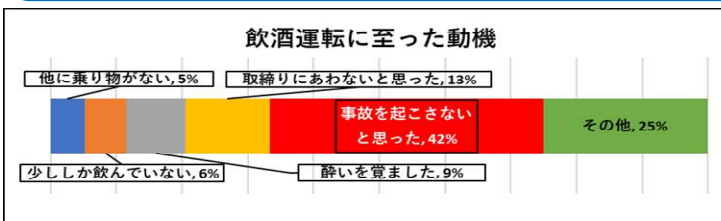
### 事故防止ポイント

- ・飲酒の場所には車を持ち込まない。
- ・車を持ち込む際は、予めハンドルキーパーを決める。
- ・社内で飲酒運転防止ルール of 徹底を図る。
- ・二日酔い状態での運転は絶対しない、させない。

【飲酒運転の動機、事故形態】

### 発生傾向

- 1 動機は「事故を起こさないと考えた」「取締りにあわないと思った」が多くを占める
- 2 車両相互の事故は全ドライバー事故に比べ「追突」「正面衝突」が多くを占める



### 分析結果

- ・飲酒運転の動機は、遵法精神の欠如に加え、気が大きくなるなどの自制心の低下が要因
- ・発見や動作、反応の遅れなどにより正面衝突や追突の事故形態の構成比が高い

### 事故防止ポイント

- ・飲酒運転は重大な犯罪であり、免許取消し、解雇など取返しのつかない事態を招くことを理解させる。
- ・アルコールは運転操作や判断力にも悪影響を与え、重大事故に直結するため、飲酒運転は絶対しない、させないことを家庭・職場・地域等で徹底する。